

【たたき案】 ワークショップの進め方

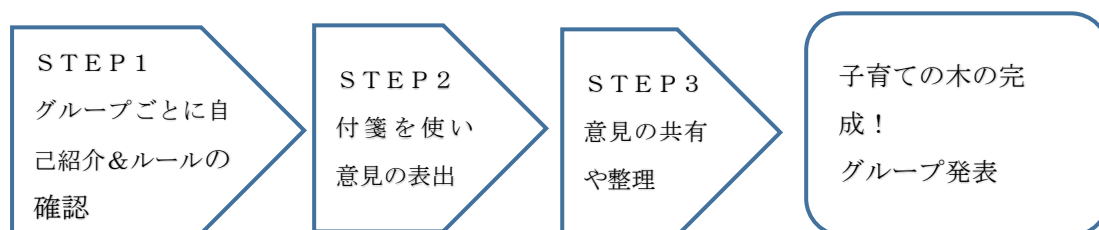
1. ワークショップとは

参加者が意見やアイデアを出し合いながら付箋等を使い、主体的に作業し、出た意見について方向性を打ち出したり、合意を図ったりする場です。

今回は、「みんなのアイデアでもっと流山を子育てしやすい街へ～育てよう！流山子育ての木～」という名称のとおり「流山がもっと子育てにやさしい街になるには？」というテーマについて皆さんに考えていただき、意見を記入した付箋を模造紙に貼り、最終的に子育ての木を作りあげるイメージです。

今回、委員の方には参加者のグループワークに入っただき進行役としての調整をお願いします（事務局もサポートに入ります）。

2. ワークショップの流れ



ワークショップの進め方（例）

（1）まずは自己紹介をお願いします。

「～です。よろしくお願いします。」

※このワークは最後にグループごとの発表を行いますので、発表者を決めてください（発表者の立候補がない場合は、委員の方が発表をお願いします）。

（2）参加者の皆さんに気持ち良く終わっていただくためにルールの確認をお願いします。

「ワークショップのルールですが、次の2つのルールをお願いします。」

①なるべく公平に発言機会を提供するため、発言は長くても1分くらいでお願い致します。②発言者の話しは最後まできき、意見は批判しないように気を付けてください。

（3）次に作業の確認をお願いします。

「皆さんに作業していただきたいことが2つあります。一つ目は「流山は10点満点で採点すると子育てにやさしい街としては何点か。」

どうしてそう思うのか。」ということと2つ目は、「どうしたらもっと子育てにやさしい街になるか」ということを考えていただきます。」

「では、まず一つ目のテーマから考えたいと思います。採点すると、流山は何点くらいですか？」(付箋に名前と点数を書いてもらう。理由について聞き出す形で会話を続ける。)

「では、今出た意見を現状は黄色の付箋、課題は水色の付箋を使って記入してください。」

(現状について書かれた黄色の付箋は木の幹に、課題について書かれた水色の付箋は土の部分にそれぞれ模造紙に貼っていく)

「次にどうしたら流山がもっと子育てにやさしい街になるかを考えたいと思います。こんなサービスあったらいい！などどんな意見でもいいので今度は緑色の付箋を使って記入してください。」

付箋を模造紙に貼っていき、最後に付箋を貼り終わった模造紙を見てグループで出た意見を再確認する。

※終わったグループから前のホワイトボードに掲示してください。

作業イメージ

投げかけ1

子育てにやさしい街としては何点ですか？

(例1)「6点」 (付箋に名前と点数を記入)

「(理由) 送迎保育ステーションがある。」

→流山の現状 (プラス要因)

(例2)「4点」

「(理由) 保育所が足りない。」

→流山の課題 (マイナス要因)

投げかけ2

もっと子育てしやすい街になるには？

(例3)

「横浜の保育コンシェルジュのようなサービスがあったらいい。」

